みんなの作品展

ペーパークラフト

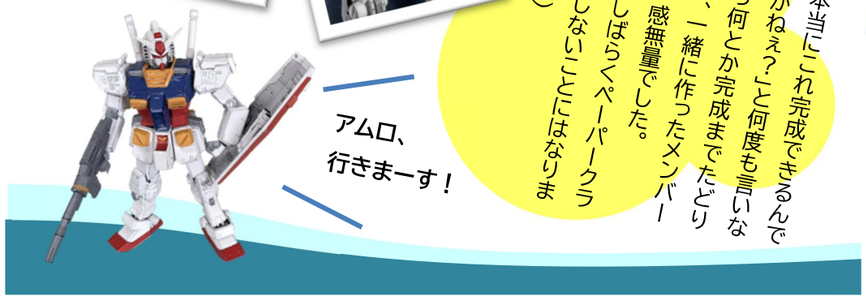
■ 青年の自立支援センターゆう

＜RX-78-2 ガンダム Ver.Ka＞

毎週火曜日に実施しているクラフトのプログラムで、昨年の 12 月頃から制作を開始したガンダム(全長32cm)のペーパークラフトがおよそ８か月かけて完成しました★

パーツ総数約 500 個を切り取って折り目をつけて、ボンドを使って組み立てて作りました。腕は可動式になっているので、関節部分も細かな仕組みになっていて、遠目で見たらプラモデルと見間違えるぐらい近い出来上がりでした！

「本当にこれ完成できるんですかねぇ？」と何度も言いながら何とか完成までたどり着き、一緒に作ったメンバー全員、感無量でした。ただ、しばらくペーパークラフトはしないことにはなりました(笑)



★ワタル君のまちがいさがしはお休みです★

保険　自動車・火災　ガン・医療・生命保険　のことは
東京海上日動・東京海上日動あんしん生命保険代理店
(株)ティ・エフ・ピー提携代理店
TEL. 072-771-7277
FAX. 072-771-7278
(株)ティ・エフ・ピー提携代理店は社会福祉法人つむぎ福祉会の運動を応援しています！
お気軽にご相談下さい!!

つむぎ福祉会ホームページ
http://www.tsumugigroup.net

◇◆ちいさな家から◆◇

実家で毎年変わらず続く、「玄関に飾られた門松、伝統とは程遠い我が家流のおせち」……ああ、今年も大みそかがきたなあと感じます。

コロナ禍で実家に帰れなかった年末、正月らしい飾りもない部屋で普段と同じ食事をして過ごしました。日付は12月31日のはずなのに特別感のない時間。この日を特別な時間にしてくれていたのは自分の中に続く思い出だったんだと、しみじみ感じました。

人によって「大みそかといえばこれ！」は違うんだろうなと思うと面白いですね。皆さんにとって大みそかといえば何ですか？

（ポンチセぴりか　小林由季）

2024年1・2・3月 №101 編集・発行 社会福祉法人つむぎ福祉会　編集者 中谷路子　発行者 石井 守
〒546-0031 大阪市東住吉区田辺 6-4-1 TEL.06-6625-8253 FAX.06-6625-8257

社会福祉法人つむぎ福祉会
つむぎ福祉会のロゴは綿を紡ぐさまをイメージすると同時に笑顔を表しています。

つむぐ

No. 101
2024 1・2・3

［そらまめ作業所：それぞれ思いを込めて年賀状の絵を描きました］

P2　主張　あたり前の願いをかなえるために
P3　リレートーク［生活介護 Kakara］
P4・5　特集　―人間らしく生きる！―　わたしの思い・願い・夢
P6　社会福祉事業のあり方［ポプラ保育園］
P7　ふんわりやさしいオープンダイアローグ №6
P8　みんなの作品展［青年の自立支援センターゆう］・編集後記

別紙　おススメの冬の過ごし方を紹介

私は冬だからこそ〇〇をする！

あたり前の願いをかなえるために

そらまめ作業所　施設長　田中　茂治

誰にでも、自分のやりたいこと、夢を追い求める自由、職業や住まいの選択の自由があり、憲法第25条には、すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有すると、明記されています。

現実はどうか？

しかし、ますます生きにくくなるこの社会の中で、職場の過酷な労働環境やハラスメントなどのために、働けなくなったり、低賃金でいくら働いてもまともな暮らしや子育てもままならないという方がたくさんおられます。

※障がいのある「なかま」は、特定の施設、仕事の枠の中での生活を強いられ一般の仕事に就くことは、稀（まれ）です。

なかまの可能性に限りはない

私が、そらまめ作業所で毎日感じるのですが、「なかま」には、自分も何か役に立ちたい、人のために、何かしたいという気持ちがあふれています。

コロナ禍で以前からの仕事が来なくなり、たまにやってくる慣れない仕事にも、取り合うように真剣に取り組んでいます。

2020年3月に、そらまめ作業所を「卒業」して、ある大きな病院の看護助手となった「なかま」がいます。

この方は十数年前、パン工房に入りましたが、作業がうまくいきませんでした。軽作業では明るい性格と能力や知識を発揮する一方で、そのこだわりからのトラブルが多い方でした。

ところが、障がい者のための介護ヘルパー講習に参加し、紆余曲折はありながらも様々な支援を受け、なんとか受講をやり抜き、参加した病院実習も合格して、コロナ禍の大変な中、試験採用、本採用とすすんだのです。

あれから早や3年半、いまでは、朝9時から15時半までの仕事をしっかりこなし、そらまめ作業所で受け取っていた「工賃」の約20倍の収入を得て、夢を現実にしようとしています。

「なかま」の労働の評価に疑問を

私はこの方の例からも、いままで一般の職場では働けないことを前提に、能力があってもそれに準じた環境で働く就労継続支援や、働くことを想定していないのに、実際は極めてわずかな工賃で、事実上社会の底辺を支えることになっている生活介護などの制度と社会の在り方に、あらためて大きな疑問を感じました。

―国連も勧告―共に力をあわせて

昨年、国連は、わが国に対して、障害者権利条約の実施を点検した総括所見（勧告）を出しました。そこで、障がい者の労働環境について、同一労働には同一賃金を、そして作業所などの「福祉サービスから、民間および公的部門における開かれた労働市場への障害者の移行の迅速化のための努力の強化」を勧告しています。

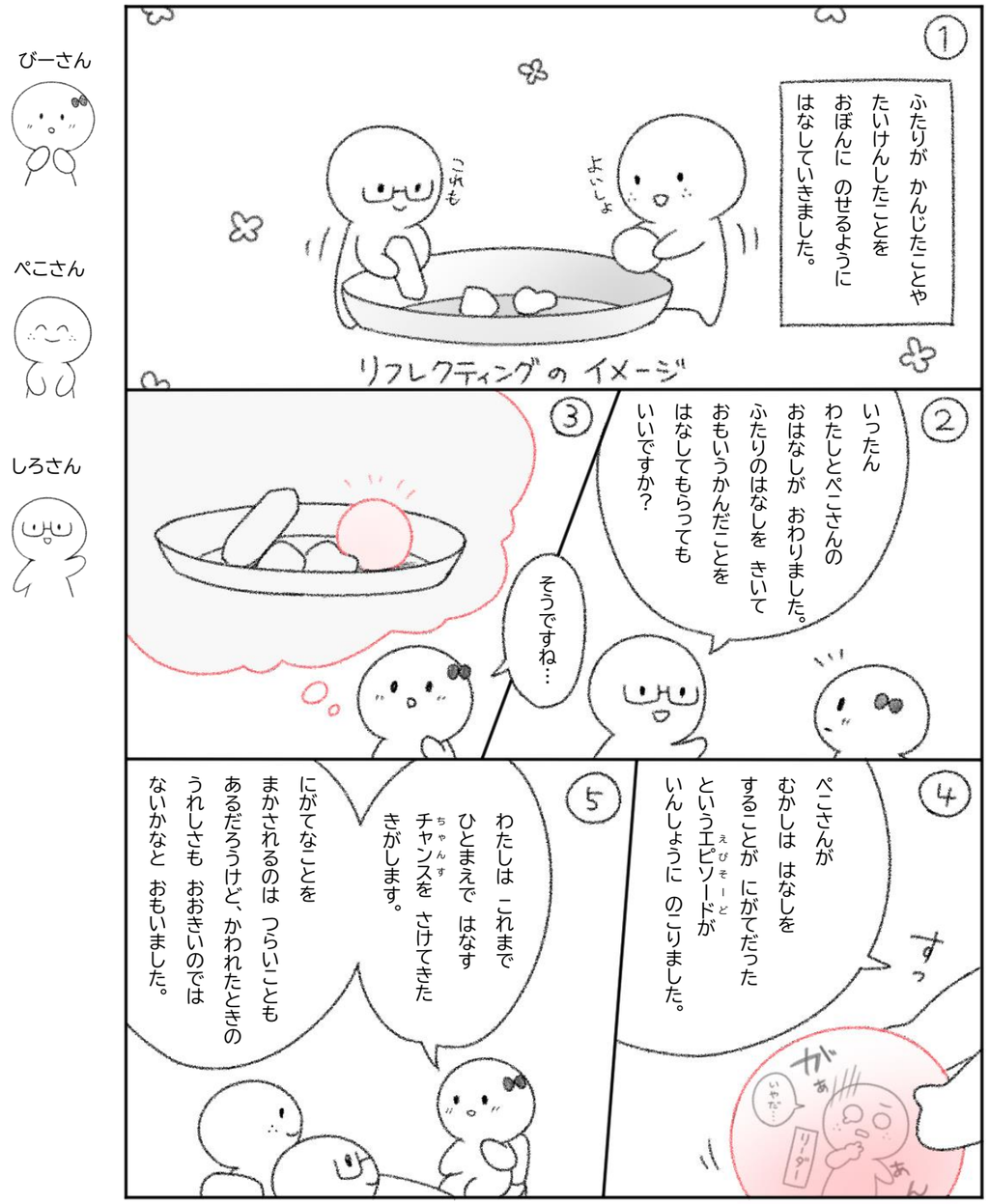
私たちも、様々な分野の方々と力を合わせて、支援のあり方も、そして制度も変えるために、努力を尽くしていきたいと考えます。

※そらまめ作業所では利用者のことを「なかま」と呼んでいます。

ふんわりやさしいオープンダイアローグまんが

前回の続きです。しろさんとぺこさんが、びーさんの話を聞いてリフレクティングをして、感じたことやそれぞれの経験を話しました。

＜ No.6 リフレクティングからの応答＞



リフレクティングからの応答の特徴は、『聞き手』が話し合って出てきたことすべてに対して応答する必要はなく、『話し手』はそこから自分が触れたい話だけ取り上げられるというところです。それによって『話し手』が無理に話さないといけないという状況を作らずに話を深めていくことが可能になります。

社会福祉事業のあり方
― 保育分野 ―

研修の大切さ

ポプラ保育園　岩成 紀代美

ポプラ保育園には**「自分らしく生きる」**という大切な思いがあります。

子どもが自分で選択し自分の気持ちの思うまま素直に表現できるということです。ただ、やりたいからと人の気持ちを考えずに行動していいのかといえばそうではありません。

相手のことを思いやる気持ち、一緒に何かをやってみようとする社会性も大切に考えています。そのため、ポプラでは子ども理解につながるよう様々な研修を取り入れています。

園内研修　ごっこ

先輩職員が講師となる園内研修もあります。先輩職員が今まで学んできたことを後輩職員に研修として伝えることで自分自身の振り返りにもつながります。日々の日常からでる素朴な疑問や悩みを職員会議で話し合うこともあり、それにより具体的な手立てに繋がることもあります。

園内研修　リズム

以前、外部から講師を呼び造形の園内研修をおこなったことがあります。その時は、画材や技法を学ぶだけでなく実践形式もあり、保育士がジャージの裾をめくり、裸足になり汚れてもいい服装で絵の具の感触を思い切り感じるというものでした。5mほど長さのある模造紙にそれぞれ絵の具を手で塗り込んだり、垂らしたりと思いのまま表現しました。すぐ手を伸ばす保育士もいれば、指先から少しずつ触れて感触を楽しむ保育士もいました。その姿を見て、「子どもと同じ」と感じた瞬間でした。

その後、保育士から「子どもの気持ちになってみた」「子どもの気持ちにより近く感じることができた」という声を聞くことができました。経験してわかる実践の大切さをより深く感じることができました。

園内研修　描画・造形

日々子どもたちは色々な経験と発見をしています。それは大人の私たちの想像をはるかに超えることもあります。散歩に出かけ葉っぱ一枚手に取る姿にも、色や形、感触を確かめるなど色々な思いが込められています。そんな時、保育士が子どもと同じ目線で寄り添い共感することで自分は認められているんだと感じることができます。

常に子ども目線で寄り添い、子どもが自分の思いを素直に表現できる環境を保育者が専門性を持って見つめていけるよう、これからも研修を通し伝えていきたいと思っています。

Relay talk

リレートーク

生活介護 Kakara

うたりちゃん

丸谷さん

生活介護 Kakara は、「玄関から玄関まで」の送迎サービスを行っています。それを支えている３名の専任ドライバーさん。利用者さんの朝夕の送迎だけでなく、各施設へ書類等を配達する**『施設便』**、夕食と翌日の朝食を法人内のグループホームに宅配する**『配食便』**も担われています。

今回は代表で４年目の**丸谷淳一さん**を通して、Kakara のドライバーさんの活躍をみなさんに知って頂きたいと思います。

丸谷さんのとある1日

8:00～　利用者さん宅へお迎え

15分前には出社して、車の清掃やエンジンやタイヤなどをしっかり点検！Kakara の車はいつもぴっかぴか！

9:45～11:45　施設便の配達

軽自動車に乗り替えて、**カカラ⇒本部⇒コットン⇒ぴりか⇒第2ぴりか⇒そらまめ⇒ぴりか⇒本部⇒カカラ**の順にぐるっと回って急ぎの書類などをお届け！

15:15～　利用者さん宅へお送り

乗り込みの厳しい利用者さんを、支援員と一緒に安全に乗って頂くお手伝いも！

16:45～18:00　グループホームの配食便

るぴなす･ふじ⇒みんと⇒オレンジ⇒今川⇒かがやき⇒葵の順に、カカラで準備した夕食と翌日の朝食をお届け！

カカラインタビュー

利用者さんに人気者の丸谷さん

どういう所が**好き**か聞いてみました！

笑顔がステキ♡（平田幸寛さん）

お喋りしていて楽しいし、道もよく知っていて頭がいいなぁと思う。（丸山素弘さん）

車のことなどが質問したらちゃんと答えてくれるから！話しやすいし、運転が上手♪（大国幸三さん）

丸谷さんの想い

運送関係で働いていたので、車の運転は好きですが、こういう福祉の仕事は初めてでした。障がいを持つ方がいても、直接援助はしたことがないので、どんなふうに接したらいいかなと思っていました。

だんだん慣れて親しく接してもらえ、降り際に「丸谷さん、ありがとう！」と元気に言ってくれたり、車が走り出しても手を振って見送ってくれている姿を見るととても嬉しく、今はやりがいを感じます。

これからも皆さんと楽しく、出来るだけ長く続けていけたらなと思っています。

人間らしく生きる！

わたしの 願い 思い 夢

新年にあたり、それぞれの思い･願い･夢を聞いてみました。
人間だけが経験したことがないことを夢みることができるそうです。夢や願いを持つことは、人間らしく生きること。
困難な現実を前にすると夢を見失うこともあるでしょう。夢や願いは、生きるための原動力です。つむぎ福祉会は、ひとり一人の夢を実現するために今年も邁進していきます。

夢がたくさん

ポンチセぴりか　永石舞さん

パンを作りたくてパン工房に入りました。
パンの生地を作るのは難しくて、少しずつできるようにがんばっている。きれいに鉄板にならべて、じょうずに作れるようにがんばりたい。
工賃をもらえるからこれからも仕事をしたいです。買いたいものが色々ある。
手話ももっと上手になりたい。
もっとできるように少しずつがんばる。

目標は有名絵師になること

青年の自立支援センターゆう A さん

絵を描くのが好きなのでそれを仕事にしたいと思っています。
イラストレーターや絵師になるのが目標です。
そのために最近はキャラクターのファッションを描く練習をしています。YouTube の動画なんかで描き方を参考にしながら練習しています。

※ハサミをスケッチしました♪

こんな風になりたいな★

ポプラ保育園
千代崎ポプラ保育園

5 歳児さんたち

いっぱい走りたい
一輪車に乗れるようになりたい
算数ができるようになりたい
漢字ひらがなカタカナがんばりたい
授業して給食食べて踊って走りたい
病院で働いて人を助けたい
ケーキ屋さんになりたい
跳び箱をがんばりたい
竹馬上手になりたい
自己紹介頑張りたい
テスト合格したい
あやとりがんばる
お掃除頑張る
手伝いしたい

20年の思いとペンを持ち

生活介護 Kakara　宇井将也さんのお母様

産まれた頃からの想い出？　発作の事？　手術のこと？
障がいの事？聞きたいのかなぁ～　読みたいのかなぁ～
いろんな事ありましたよ　楽しい事、うれしい事、いやなこと、つらい事障がいの事を受けとめるのに時間はかかった。　笑う事もたくさんあったしそれ以上に泣くこともあり、これでいいんだろうかと悩む事もあった　この子の人生の道はこれでいいんだろうか　正直わからん、一度の人生　どう生きるかはそれぞれ違う　十人十色人の手を借りて、1 日 1 日を大切に生きる。まだ 20 年　これからの人生の方が長いよ～　頑張ろうね、将也より 1 日だけ長生きしたいな　と　母心
ずっと思ってる事
ありがとう　お母さんを強くしてくれた
こらからも宜しくね　お母さんを守ってね
大好きだよ
これからもいっぱい旅行に行こうね
20 年の記念に　夢の国へ　チュウチュウ！

就職したら趣味を再開したい

中河内地域若者サポートステーション　I さん

私は早く就職して母を安心させたいです。
就職が決まったら貯金をしたり、家が古いので改装もしたいなと思っています。
電車を撮ることが趣味だったのですが、趣味にはお金がかかるので今はやめています。
それも再開したいと思っています。

自治会長になった、これからの私

そらまめ作業所　篠田ももさん

「今まで会長などになった事がないから会長になりたいなー」
と思ったから立候補してみました。みんなに選んでもらって会長になって、
嬉しさもあり作業所を良くしたいと思う様になった。
みんなで決めた事を全員で頑張って、楽しく過ごせる作業所に出来れば良いなと思っています。